

ライフ

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp



80



チエコペット

クリニック院長

(高岡市大野)

沼本 千栄子

動物を飼うにはペットショップやネット販売、ブリーダーから購入するのが一般的ですが、最近は動物保護団体から譲り受けることも増えてきました。捨てられたり飼えなくなったり、野良犬・猫になったりしている動物を助けて保護している献身的な人たちは、大切に育ててくれる人を探しています。

保護された動物たちは幼獣だけでなく、すでに成犬・成猫、高齢の動物もいます。野良の母親に育てられた幼獣は人間に対して警戒心が強く威嚇します。今まで人に

受け入れ時の注意点

飼われていた成獣でも以前の生活環境が悪かったり、その動物の性格がデリケートだったりすると新しい飼い主にはすぐに甘えられませんが。

最初は怖がって部屋の隅に逃げたり隠れたりします。これは保護動物に限らずペットショップなどで購入した動物でも同じような行動を見ることがあります。動物たちにとっては初めての家に連れて

これ初めて人間に会います。もちろん人間の言葉は分かりませんが。人間と動物が信用し合えるためには忍耐と多くの時間が必要です。

また保護された動物には外部寄生虫に感染していることがありますので動物病院でノミ、マダニの予防薬をもらいましょう。便の検査も必要です。内部寄生虫としては回虫、コクシジウムなどはよく

隔離しましょう。

ただし狭いケージの中で一生を送るのがその動物にとって本当に良いのかを心の隅に持っておかなければなりません。新入りの動物たちに人間社会のルールをいきなり従わせるのではなく、生物としての異種を認めることから始めましょう。

優しく声をかけ焦らずにゆっくりと接しましょう。抱きしめるこ

優しく焦らず接する

見られます。スポットタイプや内服薬で駆除できます。

野生の猫はFIV(猫免疫不全ウイルス)、FeLV(猫白血病ウイルス)に感染していないか血液検査をするとういでしょう。検査の結果、陽性だったときは先住の猫とけんかをするとうい感染するとういがありますので、別部屋にして

とを許してくれる犬には何度でも抱っこしてください。お互いが理解できるとういのがわすかでもあれば良いのです。全てを求めないよううにしてください。お互いが一つでも認め合えば「この子って人間にそっくりなところがあるわー」ってことになると違いないわー



威嚇する猫。人間と動物が信用し合うには忍耐と多くの時間が必要だ